

コンパク能登シティ

～デカいだけの街は、もういらん～

30班

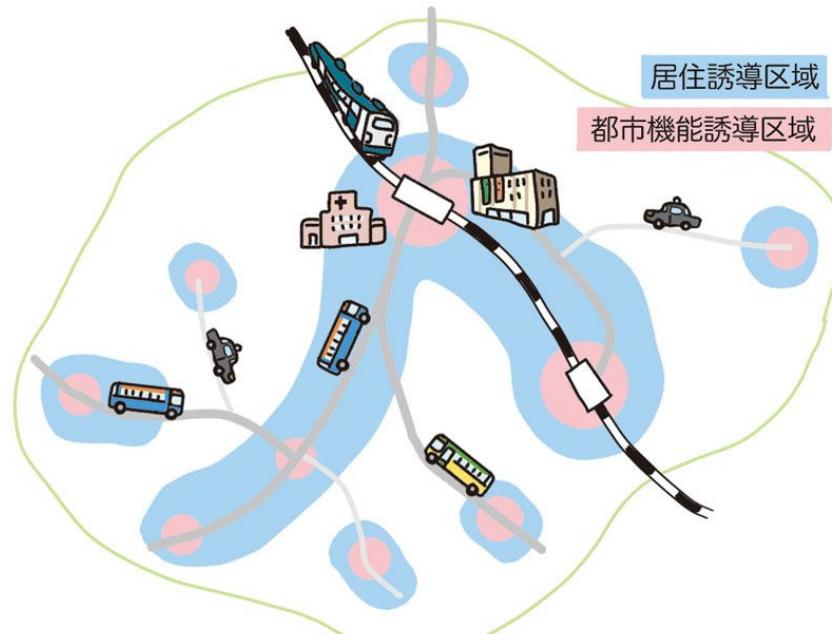
宮坂恭平 堂端優斗
山崎楓彩 横山悠乃

薮下晶基
谷口想楽

背景

能登は都市部から離れている

👉 能登だけで**自立した生活** が送れる環境の整備



現状(奥能登)

- ・人口が少ない👉交通機関が減少
- ・人が集まらない👉経済が成長しない
- ・少子高齢化👉労働力が不足
- ・都市部が離れている👉移動に時間とコスト

現状(七尾市)

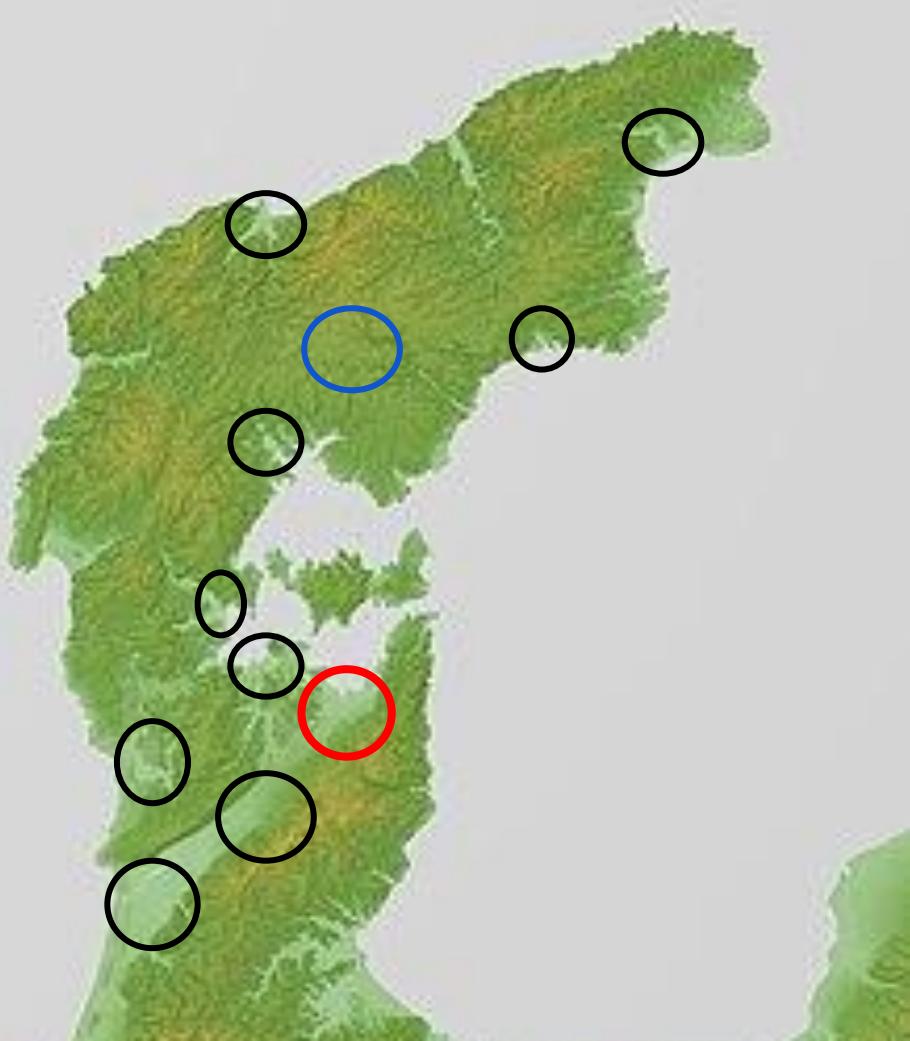
- ・公共交通機関が整っている(奥能登に比べて)
- ・中心部の低密度化
- ・人口減少
- ・公共交通機関の利便性の低下
- ・徒歩で観光地をまわれない



提案

多極ネットワーク型の
コンパクトシティを実現！





コンパクトシティ (多極ネットワーク型)



旧町村中心部を地域拠点と
し、中心拠点とネットワーク
で結ぶ

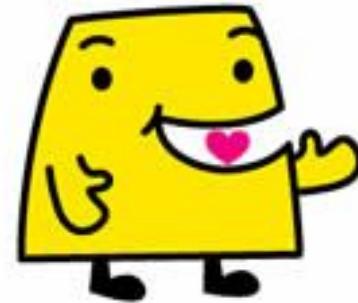
デメリット

- ・住民の声が届きにくくなる
- ・文化喪失の可能性
- ・移動手段の確保が難しい



能登を合併してコンパクトシティを行うメリット

- ①都市機能の集約がしやすい
- ②中心部の都市機能を高度化
- ③今までより大規模な開発が可能
- ④能登の抱える課題に能登全体で取り組める
- ⑤財源のコストカット



取り組み

★富山市都市計画課の方々とオンライン

- ①政策に反対する住民への対応
- ②富山市成功の要因
- ③コスト等の問題解決



富山市の取り組み



https://www.city.toyama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/006/372/2020040.jpg

富山市の路面電車



<https://youtu.be/uRRoIff-S3Q?feature=shared>

記念プレート

解決案

- ・住民からの声👉地域審議会の設置や自治体ホームページでの相談窓口の設置など
- ・文化喪失👉定期的に文化交流会を開く
- ・移動手段の確保👉バスなどの維持費が低い交通機関の使用

今後の展望

- ・公共交通機関の利便性を高める
- ・住民の方々に問題意識を持ってもらう
- ・国や自治体からの支援を募る



参考文献

- ・総務省資料(平成17年)
- ・Chat GPT